

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(令和3年度)

2. 分野別状況(1)国際戦略総合特区

	総合評価 (ⅠとⅡとⅢを1:1:2の割合で計算)	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
		目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
アジアヘッドクォーター特区 (東京都)	4.6	4.7 進捗度 ・外国企業のアジア統括拠点及び研究開発拠点の誘致数 100% ・外国企業と都内企業との引き合わせ件数 128% ・金融系外国企業の誘致数 150% 等	4.9 規制の特例等 ・ビジネスジェットの利用 手続簡略化 等 財政支援等 ・総合特区支援 利子補給金 地域独自の取組 ・アジアヘッドクォーター特区 拠点設立補助金 ・ビジネス コンシェルジュ 事業 等	4.3	<p>・本特区は今まで良い成果を上げてきたと思うが、近年はその成果の現出が鈍化しているような印象を受ける。東京は日本の中で突出して条件に恵まれているので、その恵まれた環境を活かして成果の現出をリードして欲しい。</p> <p>・着実な事業の進展が見られることは高く評価される。コロナ禍からの経済回復の中で規制緩和等の積極的な活用を期待する。</p> <p>・東京という地理的なアドバンテージを活かして、コロナ禍下においても高い成果を上げていると思う。しかしながら、もはや東京に課せられた課題は東京エリアのみにとどまらず、他の地域(ひいては日本国内)への拡充を視野に入れてほしい。</p>